

今治地方水と緑の懇話会 平成25年度活動報告

～今治地域住民と次代を担う青少年等による水源の森整備事業～

【活動の概要】

次代を担う子供たちに、森林整備体験をとおして森林林業への理解を深めてもらうため、今治市古谷にある林道沿いの市有林で、苗木の植栽活動を実施した。

参加者は、今治市立鴨部、九和小学校6年生、地域住民で構成される会員のほか、愛媛県森林林業課、今治市水道部の職員にもご参加いただいた。午前中は、今治市農林振興課職員により「今治地方の森林づくり」と題して、度重なる水害から上流地域への植林を始めた、市の森づくりの歴史をご説明いただいたあと、森林がない状態の山土と森林の土壌で、保水力や降雨の影響がどのように違うのか、実験も交え分かりやすく教えていただいた。そのあと、ノコギリや竹べらを使って、ヒノキの枝からストラップを作る木工体験を行った。

午後からケヤキ苗木の植栽活動を行った。近年鹿の食害が多くなり、対策をしていないと植栽木の成林が見込めない状況となっており、当植栽地は葛の繁茂が激しい箇所でもあり、植栽後の下刈作業の軽減も期待して、単木での食害対策、食害防止チューブを設置した。

後日、会員により急傾斜地の植栽及び植栽状況の確認作業を行った。

【参加者の声】

- ・豊かな森は土砂崩れを防ぐなどの働きをすることが良く分かった（新聞報道より）
- ・今回の森林教室で知ったことは、マサ土と森林の土が同じだと思っていたのが違うことと蒼社川の歴史について、今の蒼社川になるまでに先人達の努力があったんだなと思いました。
- ・ストラップ作りでは、のこぎりの使い方なども教えてもらったので、うまく使えました。植栽では、くわを使って、穴を掘って、苗木を植えて、鹿が食べないように白いチューブもすることで、立派な木になってほしいです。

今治地方の森林づくり紹介



木工体験 枝のストラップづくり



植栽活動



集合写真



植栽状況



12/4 植栽活動、植栽状況確認



【実績とりまとめ表】

実施時期		11月22日	12月4日	計	備考
作業内容	植付面積	0.26ha	0.04ha	0.30ha	ケヤキ (ポット苗) 食害防止チューブ設置
	植付本数	350本	50本	400本	
参加者数	県内	98人	3人	101人	
	県外	0人	0人	0人	
	計人	98人	3人	101人	
実施場所		愛媛県今治市古谷			